

## 私たちの活動について

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議は、子宮頸がんによって女性の命と幸せが奪われることがないように、精度の高い検診と予防ワクチンの普及のための科学的な根拠に基づいた啓発活動を行っています。委員は個人の意志でこの征圧会議に参加しており、それぞれが所属する団体・学会等において、適切な利益相反の管理を行っているとして理解しており、征圧会議はそれを管理する立場にはごさいません。征圧会議自身は、任意団体であり、その資産状況の開示は行っておりません。活動の趣旨に賛同いただいた団体、企業、個人から寄付をいただいております。特定製薬企業の社員が当会議に属したことはなく、また、当会議は各企業の事業活動とは独立した活動を行ってきております。

私たちは、厚生労働省やWHO（国際保健機関）、CDC（米国疾病予防センター）、FIGO（国際産婦人科連合）など国内およびグローバルのヘルスケア団体が評価し、推奨・勧告している予防接種ならびに検診の普及によって、多くの国民が病気を免れ、健康がもたらされることを期待しています。その活動の根幹は適切な医療資源の利用と公衆衛生への貢献であり、各分野の専門家が知恵を携えて誇りを持って行っております。また、私たちは、年間 3,500 人も女性の命が子宮頸がんによって奪われている現状に大変心を痛めており、一人でも多くの命を救いたいとの使命感をもって、活動に取り組んでいるものです。救える命を救いたいという、私たちの真意をご理解ください。

一方で、機能性身体症状等で苦痛と悩みに苛まれているお子さんとご家族におかれましては、7月4日の厚生労働省副反応検討部会で示された見解をご理解いただき、適切な治療を受けられることによって、一刻も早くその症状がご快癒されることを祈念しております。

2014年7月17日

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議